

新・生物多様性国家戦略の構成

前文	【経緯・計画の役割】 ■見直しの経緯 ■前回戦略のレビュー ■新戦略の性格・役割	
第1部 生物多様性の現状	【問題意識】生物多様性の3つの危機 ■第1の危機 人間活動に伴うインパクト ■第2の危機 人間活動の縮小に伴うインパクト ■第3の危機 移入種等によるインパクト	【現状分析】 ■社会経済状況 社会経済動向 国民意識の変化 ■生物多様性の現状 世界・日本の概況 種・生態系の現状 ■保護制度の現状 国土利用計画体系 環境省の保護施策
第2部 理念と目標	【理念と目標】 ■5つの理念 ①人間生存の基盤 ②世代を超えた安全性、効率性の基礎 ③有用性の源泉 ④豊かな文化の根源 ⑤予防的順応的態度(エコシステムアプローチ) ■3つの目標 ①種・生態系の保全 ②絶滅の防止と回復 ③持続可能な利用 ■生物多様性のグランドデザイン ・国土のマクロな認識 ・国土のあるべきイメージ	
第3部 生物多様性保全及び 持続可能な利用	【対応の基本方針】 ■3つの方向 ①保全の強化 ②自然再生 ③持続可能な利用 ■基本的視点 ①科学的認識 ②統合的アプローチ ③知識の共有・参加 ④連携・共同 ⑤国際的認識 ■生物多様性からみた国土の捉え方 ①国土の構造的把握 ②植生自然度別の配慮事項	【個別方針】 ■主要テーマ別取扱い方針 ①重要地域の保全と生態的ネットワーク形成 ②里地里山の保全と持続可能な利用 ③湿原・干潟等湿地の保全 ④自然の再生・修復 ⑤野生生物の保護管理 ・種の絶滅の回避 ・移入種問題への対応 ⑥自然環境データの整備 ⑦効果的な保全手法等 ・環境アセスメントの充実 ・国際的取組
第4部 具体的施策の展開	【個別施策・各省施策】 ■国土の空間的特性・土地利用に応じた施策 ①森林・林業 ②農地・農業 ③都市・公園緑地・道路 ④河川・砂防・海岸 ⑤港湾・海洋 ⑥漁業 ⑦自然環境保全地域・自然公園 ⑧名勝・天然記念物 ■横断的施策 ①野生生物の保護管理 ②生物資源の持続可能な利用 ③自然とのふれあい ④動物愛護・管理 ■基盤的施策 ①調査研究・情報整備 ②教育・学習・普及啓発・人材育成 ③経済的措置等 ④国際的取組	
第5部 戦略の効果的実施	【まとめ】 ①実行体制と各主体の連携 ②各種計画との連携 ③国家戦略実施状況の点検と国家戦略の見直し	